

# 相鉄瓦版



第259号

2019.4

Sotetsu  
Kawaraban

特集

「顔」は口ほどに



ものをいう？



# 相鉄瓦版

## 特集 | 「顔」は口ほどにものをいう？

- 4 一番大切な表情  
ものまね芸人 コロツケ
- 15 顔と時代を描く <sup>だいごみ</sup> 醍醐味  
イラストレーター 及川正通
- 26 笑顔がもたらすもの  
ビューティ&ライフ サイエнтиスト 菅沼 薫

## 連載

- |  |  |
|--|--|
| <p>36 <b>新連載</b> 小松成美のカラフル通信</p> <p>38 ヨコハマやさしいレシピ</p> <p>40 そうてつインフォメーション<br/>●ニュース<br/>●相直をめぐる物語</p> <p>46 相鉄線沿線 少年少女 熱血スポーツ</p> <p>48 ぶらり寄り道!<br/>●ほっこりできるカフェ<br/>●相鉄線沿線お出掛けスポットめぐり</p> | <p>52 <b>新連載</b> こども自然公園<br/>いきもの便り</p> <p>53 沿線トピックス<br/>●ズーラシア<br/>●イベント</p> <p>55 相鉄沿線<br/>名店プロジェクト</p> |
|--|--|

●次号(6月1日発行予定)は

「内館牧子 小松成美 特別対談」を特集します。

表紙イラスト/ネモト円筆

本誌で掲載された情報は一部を除き2019年3月12日現在のもので、情報内容は変更される場合がございますので、ご了承ください。本誌に記載の価格は消費税込みです。ただし、一部この限りではありません。

個人情報の取り扱いについて

①お客様の個人情報は、抽選および賞品発送、相鉄瓦版の制作に関する使用目的以外に使用することはありません。②お客様の個人情報は厳正に管理し、個人情報保護法に定める個人情報取扱事業者として適正に取り扱います。③お客様の個人情報の取り扱いについては下記URLをご参照ください。  
[https://www.sotetsu.co.jp/personal\\_data/group\\_policy.html](https://www.sotetsu.co.jp/personal_data/group_policy.html)



特集

# 顔は口ほどに

# ものをいう？

人と人が出会ったときに、初めに目に飛び込んでくる「顔」。私たちは意識、無意識にかかわらず、顔からさまざまなものを受け取り、会話をスタートさせます。では、コミュニケーションの起点となる「表情」には、何が表れているのでしょうか。今号では、新たな出会いが多い新年度の始まりに合わせ、専門家の方々に「顔」や「表情」から読み取れるものについて語っていただきます。

# 一番大切な表情

ものまね芸人  
コロツケ

「顔」は口ほどに

特集



ものをいう？





ものまね芸人として40年近いキャリアがあり、300以上のレパートリーを持つコロツケさん。ものまねの対象となる人のどんな表情に着目し、またご自身の顔をどのように駆使してものまねをしているのか。コロツケさんに、顔や表情に関する考えを伺いました。

## ものまねのもとになるイメージや残像

僕がいうのもおかしな話ですが、ものまねはあまり似ていない方がいいと思っ  
ています。当然ですが、どんなにそっくりでも本人にはかきません。  
見ている人も「似ているな」とは思っても、強く心に残らないでしょう。い  
くら完璧に似せても見ている人にすぐ飽きられてしまっし、本人を知らない  
人は全く笑えません。だから、僕は自分のものまねの3割は似ている部分、  
残り7割は別の生き物だと思っています。似せることを意識しない7割によつ  
て、五木ひろしさんがロボットになったり、森進一さんが恐竜になったり、瀬  
川瑛子さんが牛になったりするわけです。

たまに「コロッケさんが練習する姿は想像できません」といわれることがあります。でも、たとえ3割似ているものまねだとしても、練習は欠かせません。ただし、練習中の僕は鏡を一切見ないし、自分の姿を映像に撮ることもありません。あくまでも自分の中でイメージを膨らませて「こんな感じかな」と、ものまねをつくり上げていきます。

新しくものまねを始めるときも、対象となる人をじっくり観察するわけではありません。ぼんやりテレビを見ていると、ふとした瞬間に「ん？」と引っ掛かることがあります。それは、眉を動かしたり口元をゆがめたりといったちょっとした表情の変化だったり、首をかしげたりメガネに触ったりといった小さなしぐさだったりします。ひょっとしたら本人も無意識でしていることもかもしれないし、熱心なファンでも気付いていないことかもしれません。でも、僕の中には確実に表情やしぐさの残像が刻まれます。それが少しずつたまっていつて、あるとき「あの人って、こんな感じだな」となるんです。

最初から、対象となる人の顔をまねするわけではありません。その人を構

成する枝葉が僕の中に少しずつ蓄積されていつて、最後に幹である顔が表れてくるイメージです。初めに顔ありきではなくディテールを積み重ねるからこそ、自分とは似ても似つかない人のものまねもできるのかもしれない。冷静に見れば、僕とは顔の大きさも造作も全然違う人のものまねをするわけですから。そして、顔まねができるようになると、自然とその人の声が出やすくなります。ものまねは感覚的な芸なので説明が難しいのですが、強い言葉にするとそんな感じですよ。

## 表情やしぐさを独自の解釈でアレンジ

僕のものまねは、あくまでも自分の中の残像をもとにイメージを膨らませてつくったものです。だから、本人がやりそうでやらないこと、本人が絶対にやらないことを、僕がやることも珍しくありません。僕の妄想が膨らみ過ぎてそうなるのですが、ものまねをされる側の人にはいい迷惑だと思っています。例えば、実際には口を閉じたまま息継ぎをする歌手がいるとします。でも、

その人のものまねをするときに、あえて僕は変な形に口を開けて息継ぎをする。そこで、見ている人はつい笑ってしまい、「本人はやらないけど、やるかもしれない」というおかしな思いを抱くようです。あるいは笑うことで、本人がやる、やらないといったことはどうでもよくなるのかもしれない。

また、実際に本人がしている表情やしぐさに、僕が勝手な解釈を加えることもあります。例えば、堀内孝雄さんは歌うときに視線を斜め上に向け、首をすつと左右に動かします。おそらく堀内さんは「恋唄綴り」や「影法師」といった曲の歌詞で描かれている情景を心の目で見ていたのではないかと僕は想像しています。でも、あるとき「堀内さんの目線や首の動きって、何か虫を探しているみたいだな」と思ってしまいました。一度その妄想が浮かんでしまうと、もう、そういうふうにはしか見えません。そして、「虫を探している堀内孝雄さん」というネタとして披露すると、多くの人に笑っていただけました。そのネタを見た人は、次から堀内さんの歌う姿を目にするたびに笑ってしまうでしょう。堀内さんには本当に申し訳なく思っています。

# 飽きられないための工夫や進化

ものまねは飽きられやすく、すぐに忘れられてしまう芸です。インパクトの強い面白い顔をしてウケても、次からは「見たことがある」となって次第に見飽きられてしまいます。どうすれば飽きられないかということはずっと考え続け、いろいろと工夫を重ねています。強い印象を残すためにと考えた結果、ときには本人に失礼なこと、ファンには不愉快なことをしてしまうこともあります。不愉快な思いをした人には、「すみません」という気持ちでいっばいです。ただ、「コロッケなら失礼なことをやるだろう」と期待してくれる人もいますし、何より僕はふざけたことが大好きです。

それはともかく、ものまねを見た人の印象に残るためには、違和感を与えることも大事です。僕が長年ものまねをしている五木ひろしさんや森進一さん、岩崎宏美さんなどの顔をします。すると、その顔を見た人は「こういう声だな」と、僕がその人の声で歌うよりも前にイメージします。そこで、例



えば森進一さんの顔で武田鉄矢さんの声を出し、ちあきなおみさんの顔で森山直太郎さんの声を出して歌う。このネタは仲間のものまね芸人ですら混乱するので、一般の人ならなおさらです。でも、良い意味で見ている人の期待を裏切ることで、強いインパクトや違和感を残せたらと思っているんです。

また、飽きられないためには、常にネタを進化させ続けることも必要です。僕のレパートリーに、五木さんの顔でロボットの動きをするネタがあります。そのネタを始めたのは20年ほど前で、最初のころは当時の映画に出てくるロボットの動きをまねしていました。いかにも鋼鉄製のロボットの重さを感じられるようなカクカクした動きです。でも、今ではCGが進化して、映画に登場するロボットの動きもスムーズになりました。動きが滑らか過ぎるとロボットらしく見えないからか、今のCGではあえて動作の間にちよつとした揺らぎが入ります。そうした時代ごとの変化をネタに取り入れているので、五木さんのロボットもこれまでに15回以上は進化させています。

マイケル・ジャクソンが1991年に発表した「Black or White」  
ブラック オア ホワイト

という曲があります。この曲のプロモーションビデオでは、マイケル・ジャクソンの顔がCGによって世界各国のさまざまな人種の顔に次々と変化します。その映像を見た瞬間に「これを自分の顔でできたら面白いだろうな」と思いました。といっても、すぐに自分の顔の筋肉を自由自在に動かせたわけではありません。それでも、あごを前後左右に動かしたり、眉を左右それぞれ上下させたり、目の下をピクピクさせたりといった「顔面の筋トレ」を繰り返し返してきました。その結果、今では顔のパーツごとにある程度は思い通りに動かせるようになりました。だから、デビュー当時から続けている岩崎宏美さんのものまねも、昔と今とでは表情に限っても確実に進化しています。顔面の筋トレは努力などではなく、あくまでも遊びのような感覚で続けてきたことです。でも、それによつてもものまねの幅はぐっと広がりました。

そういった意識的なこととは別に、ものまねが進化することもあります。僕がものまねをしているのは、大好きな人ばかりです。好きだからこそ、気付くことや見ることがあります。歌手であれば曲によつて、俳優であれば

役によって、それまで見せたことのない表情をすることがあります。ミーハーな気持ちで追い掛けてみると、その人のちょっとした変化にも目が留まります。だから、僕のものまねも自然と進化していくことになるんです。

## 「笑顔になつてほしい」という思い

僕はこれまでに何度も、東北の被災地や自分の故郷である熊本の避難所を訪問しています。初めて訪れたのは、東日本大震災が発生して間もない2011年3月下旬。「何ができるか分からないけれど、とにかく行こう」と、宮城県石巻市の避難所に向かいました。自分の芸は不真面目で不謹慎だという自覚があります。避難所でものものまねをするなんて失礼だと思っていました。でも、炊き出しの手伝いをしているときに「何かやってよ」と声が掛かりました。不愉快な思いをさせないだろうかと思いつつ、拡声器を使って美川憲一さんなどのものまねをすると笑いが起きたんです。「久しぶりに笑った」といつていただけました。被災者の方と記念写真を撮るときも、僕がふつうの

顔をしていたら「せつかくだから変な顔してよ」といわれました。そこで、岩崎宏美さんの顔を見ると笑っていただけだ。僕のものまねが、大変な状況にある人たちに多少なりとも役に立つのだと実感しました。

信じてもらえないかもしれませんが、僕はもともと人見知りが激しい内向的な性格でした。でも、面白いこと、くだらないことが大好きで、ものまね芸人になりました。そして、ありがたいことに多くの人に笑ってもらえ、たくさんの笑顔に接してきました。気が付けば、僕自身もよく笑うようになっていました。今はステージ上でもよく笑うし、ものまねをしている最中に自分で吹き出してしまうこともあります。笑うと、顔につられて心も明るくなることを身をもって知っています。だからこそ、一人でも多くの人を笑わせたい、笑顔になってほしいと強く思っているんです。

スマートフォンで写真を撮ったり撮られたりすることに慣れてる若い世代は、自然な笑顔ができる人がたくさんいます。でも、特に僕より上の世代の男性はそうではありません。喜怒哀楽を顔に出さず、笑うなどもってのは

かとも思っているような感じでした。僕のコンサートを夫婦で見た女性からの手紙に「結婚して30年で、初めて主人が声を出して笑うところを見ました」と書かれていたこともあります。自ら「一緒に写真を撮ってください」といい、僕がふざけた顔をしているのに、むっとしてしている男性もいます。そんなときは「僕がやる岩崎宏美さんの顔をまねしてください」といいます。全力だとかやり過ぎなので、5割ぐらいの岩崎さんの顔をやってみてください、と伝えるんです。笑うと心がふっと軽くなるし、笑顔は最強の表情だと思います。だから、これからも多くの人に笑ってもらえるように、止まることなくものまねを進化させ、全力でふざけ続けていきたいと思っています。(談)



コロッケ●1960年、熊本県生まれ。1980年8月、「お笑いスター誕生」(日本テレビ系列)でデビュー。テレビ・ラジオなどに出演する傍ら、全国各地でのものまねコンサートや大劇場での座長公演を定期的に務めている。4月24日には中野サンプラザホールにて「ものまねエンターテイメントコロッケコンサート2019 笑う顔には福来たる!」を上演。日本芸能大賞、文化庁長官表彰、浅草芸能大賞・新人賞など受賞多数。最新情報は、ホームページを(<http://fine-stage.net/taient/crocket/>)。



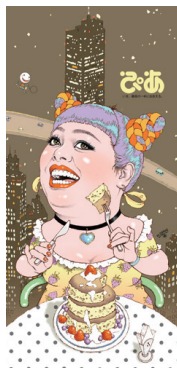


イラストレーター  
及川正道

# 顔と時代を 描く醍醐味



©及川正道



「顔は口ほどに  
特集  
ものをいう？」

36年間にわたって「ぴあ」の表紙イラストを描き続け、「同一雑誌の表紙イラスト制作者として世界一長いキャリア」というギネス世界記録にも認定された及川正通おいかわまさみちさん。時代を代表する顔を描くことの醍醐味などについて、及川さんにお話を伺いました。

## 「ぴあ」編集部が守ってくれた条件

僕がフリーのイラストレーターとして活動を始めたのは1968年です。それ以前から付き合いのあった横尾忠則さんと共に事務所を構えました。横尾さんは強烈な才能の持ち主ですから、大いに刺激を受けました。それと、僕がイラストレーターとして成長していく過程で、とても影響を受けた人物がいます。劇団「天井てんじやう敷」を主宰していた寺山修司さんです。

「公演のポスターを頼みたい」と寺山さんに呼ばれて喫茶店に行くと、30分以上じっと黙っている。ようやく口を開いたと思ったら「次の芝居のイメージは、阿片アヘン戦争の時代の雰囲気かな。よろしくね」といい、席を立ってしまう。

そうした態度は、寺山さんが新聞で連載していた小説の挿絵を担当していたときも同様でした。突然電話が来て「次回は、ほつぺたにソーセージがくっ付いた人の話だな」といってがちゃんと切れる。けむに巻かれるというか、何が何だか分かりません。それでも必死に頭を絞り、どうにか一枚の絵を仕上げていく。これ以上ないほど大変でしたが、あるときから寺山さんとの仕事に面白さを感じるようになりました。寺山さんは意図していなかったのでしょうか、自由にイメージを膨らませることの楽しさを教えられたんです。

そうしたことがあったので、1975年に「ぴあ」からの依頼を受けるに当たって一つの条件を提示しました。それは「誰をどういうふうを描くか、最終的な決定権を僕に与えてほしい」という条件です。同時に、仕事の進め方についてもお願いしました。まず、編集部から表紙で描く候補を数人挙げてもらいます。その中から、僕がインスピレーションで「この人なら面白くなりそうだな」というものを選ぶ。そして、誰からも制約を受けず、自由に発想を広げて描いていくという方法です。僕の提案を編集部は快諾してくれ、

それからずっと守ってくれました。僕の表現には、いたずら心や遊び心が不可欠です。ときには度が過ぎて、描かれた本人やファンから編集部に苦情が入ったこともあったかもしれませんが、でも、そうした声が僕の耳に届くことはありませんでした。そういった編集部との信頼関係があったから、「ぴあ」の仕事が36年間も続いたんだと思います。

## 音楽が聞こえ、アイデアが飛躍する顔

当初は月刊だった「ぴあ」は、1979年から隔週刊に、そして1990年から週刊になります。不思議なもので、スケジュール的には大変な週刊になつてからの方が楽しめるようになった感覚があります。余裕のある月刊や、一息つくヒマのある隔週刊と違い、週刊には全く隙間がありません。余計なことを考えず、次から次へと顔を描いていくというリズムが妙に楽しかったです。編集部から候補の資料写真が届くと、初めの3日間ほどはインスピレーションが湧き、アイデアが浮かぶのを待ちます。そして、誰を描くかを

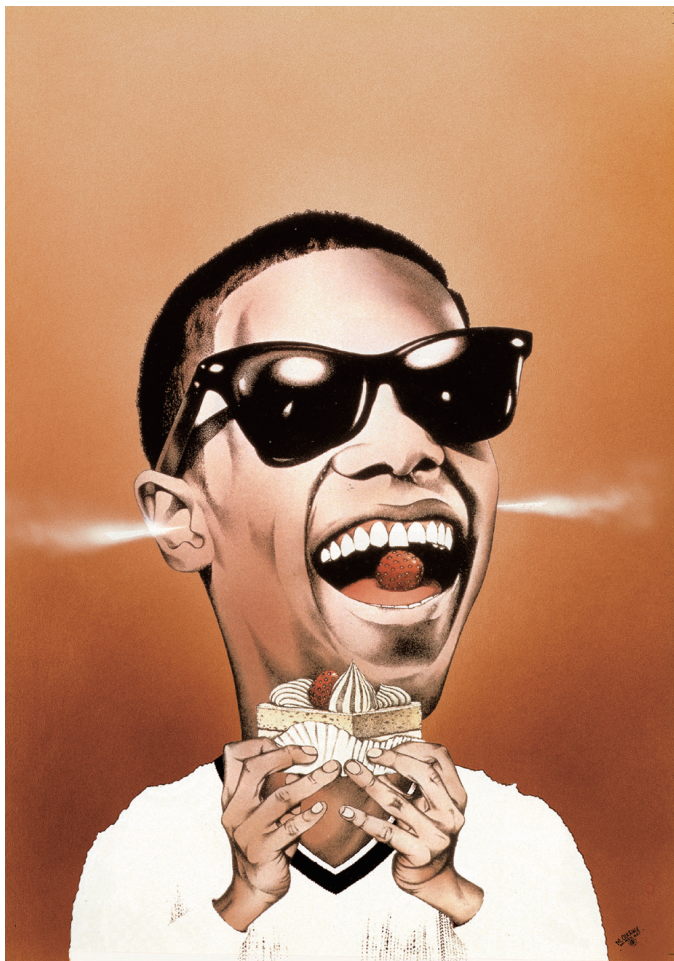
決めたら、2日間でイラストを仕上げていきます。もともと、その2日間も目の前の顔とだけ対峙<sup>たいじ</sup>しているわけではありません。すぐ後ろには次号や次々号の候補も控えているので、常に僕の頭の中には何人もの顔がうごめいているような状態です。はたから見れば壮絶な状況かもしれませんが、不思議と苦しさを感じることはありませんでした。

初期の「ぴあ」は洋画中心の情報誌だったので、僕が描くものも海外の映画俳優が多かったです。それから徐々に「ぴあ」が扱う情報も音楽や邦画など多様になり、必然的に人選の幅も広がりました。僕自身がバンドをやっていることもあって、特にミュージシャンを描くときは気持ちが変わります。ミュージシャンの顔と向き合っていると、音楽が聞こえてくる場合があります。それによってアイデアが飛躍し、描いていて独特のノリが生まれてくるんです。ミュージシャンを描くときならではのひらめきを最初に味わったのはステイビー・ワンダーです。1966年に発表された「<sup>ダ</sup>down<sup>トウ</sup>to<sup>ア</sup>earth<sup>ス</sup>」(邦題「太陽のあたる場所」というアルバムがあります。ジャケッ



ト写真では、ステイビー・ワンダーがハーモニカを手にしています。その写真を見つと見ていたら、突如、ハーモニカがショートケーキに変わったんです。なぜショートケーキなのかなんて説明できないけれど、このイラストが完成したときはすごくうれしかったです。こうした発想の飛躍が「ぴあ」における僕の表現の基本となったのですが、最初に形にできたのがショートケーキを手にしたステイビー・ワンダーでした。

もつとも、ミュージシャンを描くときはいつも楽しいというわけではありません。すごい才能の持ち主だと思っっているけれど、ボブ・ディランを描くときはとても疲れます。彼の音楽を聞いたり、インタビューなどを読んだりしても、その人となりがどうにもつかめません。顔写真を眺めていても真意が伝わってこず、ひよつとして何も考えていないのではないかとすら思えてきます。それでも「どうにか自分のものにできないか」と腕まくりして、彼の顔と対峙するわけです。一度「ぴあ」の表紙にボブ・ディランと机を挟んで困惑する自分自身を描いたこともあります。それは僕の正直な思いです。



©及川正道

## 時代とともに変化していく顔

僕はそのときどきのインスピレーションで人選していて、過去に誰を何回描いたかといったことは正確に把握していません。36年間で最も多く表紙に登場したのは広末涼子さんですと人からいわれ、初めて「そうなのか」と思ったほどです。ただ、彼女を初めて描いたときのことはよく覚えています。デビュー当時から将来有望な女優として編集部からの候補に入っていたのですが、僕は5、6回スルーしています。あるとき、たまたま映画かテレビで彼女の動いている姿を目にしました。静止している写真の顔からは特に感じなかったのですが、映像の表情には引き付けられるものがありました。

広末さんを初めて取り上げたのは1997年で、その年だけで3回、翌年も3回描いているそうです。それだけ目まぐるしく活躍していたし、僕も引かれるものがあったんでしょう。1997年に描いたうちの1枚が「ヒゲをそる広末涼子」（15ページ掲載）です。これを見た本人は「何で17歳の自分

がヒゲそり？」と不思議がっていたそうです。ハーモニカがショートケーキになるのと同じで、特に理由などありません。人に聞かれるとそう答えるのですが、このヒゲそりには僕なりのドラマがありました。朝起きて洗面所に行くと、父親が使ったヒゲそりがあった。それを自分の頬に当て、父親の温もりを感じる娘——。気恥ずかしいですが、広末さんの顔を眺めていたら、そんな父と娘のドラマが僕の脳裏にふと浮かび上がってきたんです。

女性を取り上げる場合には、特に目の描写に気を配ります。目を際立たせることで顔そのものが生き生きとしたものになり、逆に目を描けないとイラストそのものが成り立たなくなるからです。広末さんに関しては、17歳から28歳の12年間を描き続けました。その間に彼女は女優としても人間としても成長しているし、目の形も顔つきもかなり変わっています。あくまでも僕の頭の中での話ですが、ときには父親として、ときには恋人として、さまざまなただドラマを膨らませてきました。そうやってイメージを喚起されつつ、広末さんの成長を見届けることができたのはとても幸運な体験でした。

## 顔を通して浮かび上がってくるイメージ

いわゆる美男美女の顔は目鼻が左右対称ですが、概して整った顔からはイメージを喚起されることがほとんどありません。例えばマリリン・モンローは存在感のある個性的な顔で、さまざまにイメージが膨らみます。ただ、彼女自身がすでにデフォルメされたイラストのような存在なので、「ぴあ」では変な小細工をしないでストレートに笑顔を描きました。

もつとも、僕は人の顔を描くときに、似せようなどとは思っていません。単にそっくりな似顔絵を描いてもつまらないので。インスピレーションが湧くまでは顔を眺め続けますが、描き始めたらほとんど見返しません。写真をじつと見ていると、僕の勝手なイメージですが、その人の生き様や生活感が感じられる瞬間があります。そして、その人の生き生きと躍動している姿を描こうとすると、自然と似てくるんです。

僕は、ただ顔を描いてきたとは思っていません。活躍している人の顔には、

その時代の空気が確実に感じられます。

僕は、顔を通して時代ごとの空気感を描いてきたという感覚があるんです。だから、マンネリに陥ることはありません。たとえ週刊のペースに追い立てられていても、それだけのスピードで多くの人と対面、対話するという楽しさがありました。何より、人間の顔を描くことは本当に面白いですから。(談)



おいかわまさみち ● 1939年、大連生まれ。出版社勤務を経て1968年からフリーに。寺山修司氏主宰の劇団天井桟敷の公演ボスターや舞台美術を手掛けた他、「平凡パンチ」などで劇画スタイルのイラストレーションを連載。1975年9月号から「びあ」の表紙を担当し、ギネス記録に認定された。現在は「びあ」のスマートフォン向けアプリにて毎月、新作イラストを描き下ろしている。



©及川正道

# 笑顔

がもたらすもの

ビューティ&ライフ  
サイエンティスト

菅沼 薫



「顔は口ほどに

特集



ものをいう？



私たちは他人の顔や表情のどのような点に注目し、また、どのような情報を受け取っているのでしょうか。長年美容に関する研究に従事し、現在は「日本顔学会」の会長を務めている菅沼薫さんにお話を伺いました。

## 心が表れる表情の左右のバランス

日本顔学会は、顔に関する研究の発展を期して1995年に設立されました。美容や化粧品をはじめ、歯学や医学、工学、心理学など多岐にわたる研究者で構成され、現在の会員は約6000人です。この顔学会を設立した中心メンバーの一人が、東京大学特任教授の原島博先生です。原島先生は顔学会を設立する前後の時期に「平均顔」の研究をされました。東大の男子学生20数人の顔写真をコンピュータ処理で平均化し、そこからさまざまなことを読み解く研究です。私はその平均顔を紹介している新聞記事を目にし、自分の美容に関する研究にも活用できるのではないかと思います、原島先生のもとを訪ねました。そして、原島先生にご協力いただきながら、当時、自分が所属して

いた研究所の女性関係者30人の平均顔を制作しました。その後、女性5人の平均顔などもつくり、さまざまな研究を行っています。

人間の顔は必ずしも左右対称ではありません。

目や耳の大きさが左右で異なる人は珍しくないし、シミやほくろの位置もバラバラです。顔の左右で違いがあるということは、いわば個性です。でも、平均顔では個性がならされて左右のバランスが取れ、とても端正な顔になります。男性の平均顔はハンサムに、女性のそれは美人になるのです。

なお、顔学会の初代会長で人類学者の香原志勢こうはらゆきなり先生は、「素直に心から出ている表情は左右対称で、意図的、意識的な表情は左右非対称になる」とおっしゃっています。うれしいとき、楽しいとき、おかしいとき、悲しいとき、怒ったときなど、心からの自然な感情が表れたときの表情は左右のバランスが取れています。それに対して、何か思惑や含みがあるとき、あるいはねたんだり、



女性5人の平均顔

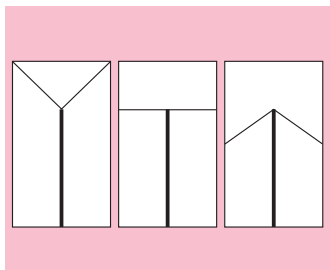
からかつたりするときには、口角の左右どちらか一方に力が入り、口がへ  
字に曲がります。皮肉な笑いをするときにも、やはり口角の左右のバランス  
が崩れます。時代劇に登場する越後屋や悪代官の顔を思い浮かべると分かり  
やすいですが、意図的な表情はどうしてもゆがんでしまい、左右非対称にな  
るのです。表情の左右のバランスを見ると、よくいわれる「心は顔に出る」  
という言葉は正しいのだと思います。

## 人間の顔を印象付けるもの

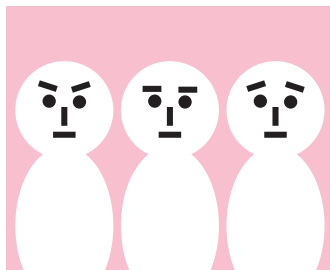
私が専門にしている美容の分野では、認知心理学などの科学的アプローチ  
が不可欠です。例えば、目と眉の位置関係に関する研究があります。目と眉  
が離れていると、実際よりも目が小さく見えます。そこで、目と眉が近くなっ  
たように見せるために、まぶたに奥行きのある化粧を施します。すると、錯  
視によって、実際より目が大きく見えるのです。

同じく錯視を利用した研究では、眉の傾きと顔の印象に関するものもあり

ます（図A）。同じ大きさの目と顔であつても、眉の傾きによって表情の印象が異なります。眉尻が下がっていると、単に垂れ目に見えるだけでなく、頬も丸く見えます。一方、眉尻が上がっていると、つり目で頬がシャープに見えます。イラストではなく人間の顔写真を使った研究でも同様で、眉によって目だけでなく顔全体の印象も変わってくるのです。この眉の傾きによる表情の違いは、顔の一部の印象や特性が隣接する部位に伝播する錯視によるものです。図Bを見ると、より分かりやすいと思います。実際には、中央の縦線はいずれも同じ長さです。でも、隣接する線の傾きによって、中央の縦線が違う長さに見えるのです。このような錯視を利用して、例えば「顔をシャープに見せ



図B



図A

たいなら、眉尻を上げて描きましょう」などとアドバイスするわけです。

ところで、下の2枚の写真のうち、どちらが魅力的に見えますか。多くの人が平均顔Aの方が魅力的だと感じるのではないのでしょうか。平均顔Aは5人の女性の顔を平均化したそのままの写真、平均顔Bはそれにシミやシワ、目の下のクマなどを描き加えたものです。私たちは日ごろから意識、無意識にかかわらず、初対面の相手の年齢を推測しています。では、何をもとに「この人は幾つぐらいかしら」と判断しているのでしょうか。実は、見た目の年齢や印象は肌によって決まることが、多くの研究によって分かっています。人の顔は、色ツヤやシミ、シワなど肌全体の雰囲気によって記憶さ



平均顔B



平均顔A

れます。それは、顔の中で肌の面積が最も広いからです。逆に目や口などのパーツは印象が薄く、ましてや目が一重か二重かといったような記憶はあまり残りません。日頃から接している人と、相対して似顔絵を描いてみると分かるはずです。「意外と目が大きいな」「こんな鼻の形なんだ」などと、長い付き合いなの初めて気付くことがたくさんあると思います。

肌を気にする傾向は、特に日本人女性に顕著です。ファンデーションをあまり使わない欧米人と比べ、肌色にこだわりを持つ日本人女性は少なくありません。そもそも日本で装飾としての化粧が始まったのは、中国大陸との交流で白粉や紅がもたらされた6世紀後半の飛鳥時代からといわれています。鎌倉時代には武家階級から庶民にまで広まり、江戸時代には白粉、眉墨、紅という伝統的な日本の化粧が完成しました。かつての化粧は美しく見せるだけでなく、健康や地位を表すものでもあったようです。特に公家の人々は、顔色を悟られないように白粉を塗り、健康を印象付けるために赤い紅を差していたそうです。古くから伝わる「色の白いは七難隠す」ということわざが

あります。肌の白さによって多少の欠点も隠せるという意味ですが、昔から日本人は肌がさまざまな情報を他人に与えてしまうことを知っていて、だからこそ「隠す」ということに重きを置いていたのでしょう。

## 和やかな笑顔は人のためならず

「和顔愛語」という仏教用語があります。5世紀に漢訳された「雑宝蔵経」に「無財の七施」、財産がなくても七つの施しができるという教えが説かれています。その七つの施しの中に、笑顔の施しである「和顔悦色施」と、心の込もった言葉の施しである「言辞施（愛語施）」があります。つまり、和顔愛語とは和やかな笑顔と優しい言葉の施しという意味です。

仏像の尊顔をイメージすると、和顔がどういう表情か分かりやすいと思います。私は以前、東京国立博物館で開催された「薬師寺展」で、日光菩薩と月光菩薩を間近に見る機会がありました。古くから仏像の尊顔は多くの人々を魅了し、また見る人を穏やかな気持ちにさせてきました。その理由はどこ

にあるのだろうか、菩薩像の尊顔をまじまじと見ていて気が付いたことがあります。いずれの尊顔も大頬骨筋だいきょうこつぎんを緊張させた表情をしていました。大頬骨筋は、頬骨から口角にかけてある表情筋の一つです。口を閉じて大頬骨筋を緊張させると、とても慈悲深いほほ笑みになります。この表情は、レオナルド・ダ・ヴィンチが描いた「モナ・リザ」にも見られるものです。私は日光菩薩と月光菩薩の尊顔を見て「これこそが和顔だ」と得心しました。

ところで、鏡がなければ自分の顔を見ることはできません。でも、自分の表情を知る手だてがあります。認知心理学では「表情模倣」と呼ばれる心理行動が研究されています。表情模倣とは、相手の表情につられ、それを見ている受け手側も同じ表情をまねしてしまう現象のことです。ほほ笑みに限らず、しかめっ面や泣き顔など、どのような表情でも模倣は起こります。ですから、相手の顔を見れば、自分が今どのような表情を浮かべているかが分かります。自分の表情が相手に移り、それがまた自分に返ってくるのです。

また、人間を含めた霊長類の脳内には「ミラーニューロン」と呼ばれる神



経細胞があることが知られています。相手がある動作をすると、自分は何もしていないのに同じ動作をしたかのように脳内の神経細胞が反応する現象のことです。動作に限らず、言葉や表情でも同様の反応が起こります。おそらく、ほほ笑みに接すると安らかな気持ちになるのは、そのミラーニューロンが大いに関係しているのでしょう。

多くの人が加齢とともに表情が乏しくなるのは、表情筋が衰えてくるからです。日ごろから大頬骨筋を意識して口角を上げていれば、筋力の衰えにあらがうことができます。何より、自らほほ笑みを浮かべると、それが自分に返ってきます。まずは「和顔」を意識すること。情けは人のためならずではありませんが、和やかな笑顔は幸せな循環を生む最高の表情なのです。（談）

すがぬまかおる ●ビューティ&ライフサイエンティスト、武庫川女子大学客員教授、suka i 美科学研究所代表。日本顔学会会長をはじめ、日本化粧品技術者会役員、日本化粧品学会評議員などを務める。長年、美容雑誌における化粧品比較実験を手掛けるなど、化粧品と肌のスペシャリストとしてメディアでも活躍中。日本顔学会 (<http://www.jface.jp/>)。

小松成美の

カ  
ラ  
フ  
ル  
通  
信

vol.1

## 風景を愛<sup>め</sup>で、心身を癒されるレストラン



こまつなるみ ●神奈川県横浜市生まれ。放送局勤務などを経たのち、1990年、作家に転身。真摯な取材、磨き抜かれた文章には定評があり、数多くの人物ルポルタージュ、スポーツノンフィクション、インタビュー、エッセイ・コラム、小説を執筆。主な作品に『アストリット・キルヒヘア ビートルズが愛した女』『中田語録』『中田英寿 鼓動』『中田英寿 誇り』『イチロー・オン・イチロー』『和を継ぐものたち』『勤三郎、荒ぶる』『YOSHIKI/ 佳樹』『なぜあの時あきらめなかったのか』『横綱白鵬 試練の山を越えてはるかなる頂へ』『全身女優 森光子』『仁左衛門恋し』『熱狂宣言』『五郎丸日記』『それってキセキ GReeeeN の物語』『虹色のチョコレート』などがある。

<https://narumi-komatsu.themedia.jp/>

そのレストランの窓から見える桜の大本と背景に行き合うヨコハマネイビーブルーの電車。それはまるで、1870年代にクロード・モネがアルジャントウイユに暮らしたところに描いた絵のような光景。

大きな窓から四季それぞれの桜の木を眺めながら、美しいフレンチをいただくひとときは、私にとって小さな旅のようなもの。

そう、弥生台にあるフレンチレストラン「ペタルドウ サクラ」を訪れるのは、騒々しい日常から離れ、心の緊張を解くためです。

前菜からメインディッシュ、デザートまで、次々に出される料理の彩りにはいつも目を見張ります。皿の上で味のハーモニーを奏でるのは、色鮮やかな横浜の野菜たち。

オーナーシェフ難波秀行さんは、相鉄線沿線に点在する農園の野菜に魅了されてこの地にレストランを開きました。相鉄沿線名店プロジェクトの1号店として、です。

「フランスで修業していた20代のころ、シェフがキッチンを飛び出して畑や漁港を回り、高い野菜や魚を手にして笑うその姿を見て、地元の新鮮な食材を知ることがどんなに大切か、学びました」

そして、今から10年前、横浜に根付いた「地産地消」がメインテーマになるのです。

「ミクニヨコハマのシェフを任された時、オーナーの三國清三さんからのアドバイスでした。私も都心とは違う料理を追い求めていたので、精力的に横浜の農家を訪ね歩きました。すると、畑巡りが楽しくて日課になっていきました」  
早朝から畑に向き、季節を感じながら、土の上に立つて野菜を見る難波さん。

「農家さんと話しながら新鮮な旬の野菜に触れていると、斬新なレシピのアイデアが浮かんでくることもあります」

厨房ちゅうぼうに戻って練り広げる創作は、首都圏で育まれる野菜に光を当てる作業です。

「私が求める味や形を快く提供してくださる農家さんへの感謝が、そのまま、美味しく美しい料理にする、という情熱へと変わっていくんですよ」

レストランで使う食材の約9割は横浜、そして神奈川県産。野菜だけでなく、肉も卵も牛乳も地元から入手しています。

「370万人が暮らす横浜でとれる牛乳や卵の、それは美味しいこと。私の料理は、地元でとれる食品のいわば仕上げの作業です」

難波さんは、訪れる客たちの心身の健やかさをいつも思っています。もちろん、私もその恩恵に預かっている一人。

「春夏秋冬、その折々に、体に優しく滋養を考えた一品を揃えたい。シェフとして一緒に料理を作る妻の綾とともに薬膳を学び、メニューを作っています」

みなさんは、大好きな風景に出会い、心身を癒される、そんなレストランを持っていますか。

● 使用した相鉄いずみ野線沿線の野菜

トマト

ピーマン

タマネギ

ニンジン

[ 材料 ]

パスタ	200g	ニンジン	30g
トマト	大1個	ニンニク	1片
ピーマン	1個	アンチョビ	1枚
タマネギ	1/4個	オリーブ油	大さじ3

[ 作り方 ]

- 1 タマネギは薄切り、ニンジン、ピーマンは千切り、トマトは粗くみじん切りにしておく。
- 2 フライパンにオリーブ油をひき、ニンニクをつぶして入れ、弱火で焦がさないように香りを出す。香りが出て茶色く色付いたら取り出す。
- 3 アンチョビをフライパンに入れ、崩しながら生臭さがなくなるまでしっかりと炒める。そこにタマネギ、ニンジン、ピーマンを入れしんなりするまで炒め、塩、こしょうで軽く下味をつけておく。
- 4 たっぷりのお湯を沸かし、お湯の量の2%の塩を入れパスタをゆでる。湯切り時間の2分前になったら③のフライパンにトマトを入れる。
- 5 トマトの水分で③を乳化させる。水分が足りない場合はパスタのゆで汁を足す。
- 6 ⑤にパスタを加え、味を整えてエクストラバージン油を少々入れ、軽くあえて器に盛る。

ポイント

好きな野菜をたっぷり使ってつくりました。晴れた日のガーデンで楽しんでください。



地元野菜の楽しみ方を幅広く提案している「ヨコハマやさいレシピ」。今回は、第3回「ヨコハマやさいレシピコンテスト」の優秀賞のレシピをご紹介します

第3回優秀賞

新鮮野菜たっぷり  
いずみ野ガーデンパスタ



●第3回「ヨコハマやさいレシピコンテスト」

昨年9月から10月にかけて「相鉄いずみ野線沿線の野菜を使った秋の一品」をテーマに料理写真を募集した第3回「ヨコハマやさいレシピコンテスト」。一般投票を経て、最優秀賞、優秀賞、入賞が決定しました。それらの料理が「大ど根性ホルモン」「ど根性キッチン」のオーナーシェフ、椿直樹さんによってレシピ化されました。詳細は「ヨコハマやさいレシピ」のウェブサイトをご覧ください。



「SOTETSU GOODS STORE」二俣川をオープン



相鉄では、電車やバスの愛好家からお子さままで、幅広いお客さまにご利用いただいている「SOTETSU GOODS STORE」を、二俣川駅構内（定期券売り場横）にオープンしました。

同店は、海老名駅構内から移転したもので、売り場が広くなり、商品のラインアップを充実させた他、営業時間を延長するなど、より利用しやすい店舗となりました。

店内には電車の実物を加工した運転台など、実際に触れられる施設も設置していますので、お気軽にお立ち寄りください。

【SOTETSU GOODS STORE】

営業時間 [平日] 11:00～20:00  
[土休日] 10:00～19:00  
休業日 年末年始  
電話番号 045-364-8801

## 相鉄フレックスイン 神戸三宮をオープン

相鉄では、5月15日に「相鉄フレックスイン 神戸三宮」をオープンします。

JR線「三ノ宮駅」、神戸市営地下鉄・ポートライナー「三宮駅」から徒歩

3分、阪急・阪神「神戸三宮駅」から徒歩4分。また、三宮駅からポートライナーで神戸空港駅まで18分と大変利便性が高い立地にあります。

客室にはスマートフォンを利用した開錠システムや、全館浄水システム、朝食

会場の利用状況などが確認できるタブレット端末の他、セルフチェックイン・チェックアウト端末の導入など快適性と利便性を高めています。



イメージ

### 【相鉄フレックスイン 神戸三宮】

所在地 兵庫県神戸市中央区旭通5-2-3  
 電話番号 078(570)2031  
 客室数 271室(全室禁煙)  
 アクセス JR線「三ノ宮駅」、神戸市営地下鉄・ポートライナー「三宮駅」から徒歩3分、阪急・阪神「神戸三宮駅」から徒歩4分。



ご予約はウェブサイトです <https://fresa-inn.jp/>

大人気のナイトスイーツbuffet「スイーツパレード」で  
ストロベリーパーティーを開催中

横浜ベイシエラトンホテル&タワーズのロビーラウンジ「シーウインド」では、旬のいちごをふんだんに使ったスイーツをbuffetスタイルで提供する「スイーツパレード」〜ストロベリーパーティー〜を4月26日まで開催しています。

スパークリングワインの飲み放題が初登場した他、ご自身でつくるオーブンサンドイッチやビーフシチューなど、ホテルメーカの軽食もご用意しています。



イメージ



イメージ

Sweets Parade ~ Strawberry Party! ~

[期 間] 4月26日(金)まで ※毎週木・金曜日開催

[時 間] 18:30 ~ 21:00

[料 金] お一人さま ¥4,167

お子さま(4歳以上の未就学児) ¥2,084

※サービス料込み、消費税別。

※混み合うことが予想されるため、ご予約の上でのご来店をお勧めします。

※仕入れの状況により内容は予告なく変更する場合があります。

※割引対象外メニューです。

●お問い合わせ

詳しくは電話、もしくはウェブサイトにてご確認ください。

[レストラン総合予約: 10:00~19:00、無休] TEL.045(411)1188

[URL] <https://www.yokohamabay-sheraton.co.jp/>



相直を  
めぐる  
物語  
①

## 新型車両

相模鉄道(株) 運輸車両部 大谷<sup>がくと</sup>学途



2019年度下期に開業を予定している相鉄・JR直通線(以下、相直)。  
このコーナーでは、相直に関するさまざまな取り組みを紹介します。  
今回は、新型車両「12000系」について、  
相模鉄道 運輸車両部の大谷学途さんにお話を伺いました。

相鉄・JR直通線用車両である12000系の開発プロジェクトは、2016年秋に始まりました。それから1年以上かけてデザインや内外装、各種機器などの検討を重ね、最終案が決まっ

たのが2018年春です。そこから製造が始まり、12000系車両がかわ台車両センターに納車されたのは、12月でした。そして、今春の運行開始に向け、さまざまな試験や検査を行っています。

この12000系車両は「デザインブランドアッププロジェクト」の概念に基づいて設計・製造しています。特に熟考したのは先頭車両の前面



(上) 輸送中の12000系(桜木町駅付近)  
(下) 事業用車「モヤ700系」との連結

(\*)統一コンセプトに基づいて車両や駅舎、制服などのデザインを行うプロジェクト  
<https://www.sotetsu.co.jp/design-pj/>



(上) 相鉄線内を試験走行する12000系  
(下) ガラスを多用し、開放感のある車内

## 初めてJR線内を走る 相鉄の車両としてふさわしいデザイン

のデザインで、代表的な  
能面の一つ「獅子口」を  
イメージしたものになり  
ました。「三人寄れば文

殊の知恵」ということわ  
ぎで有名な文殊菩薩は、  
獅子に乗っていることで  
知られています。知恵を

つかさどる文殊菩薩が乗  
る獅子は、初めてJR線  
内を走る相鉄の車両の先  
頭デザインとして最もふ  
さわしいのではないかと  
思っています。

12000系の開発に  
は2年以上を要しました  
が、相鉄・JR直通線用  
車両として胸を張って送  
り出せるものができた  
と自負しています。

相直の開業が近づいて  
きました。この12000  
系車両にお客さまが乗車  
され、JR線内を走って  
新宿方面に乗り入れるこ  
とになります。その様子  
を想像し、私も期待に胸  
を弾ませています。

相鉄線沿線  
少年少女  
熱血スポーツ

沿線でスポーツに取り組む  
少年少女を紹介します



いとすかい  
日本空手道糸州会  
大和支部



代表 市川文一さん

DATA

日本空手道糸州会 大和支部  
TEL.046 (262) 1467

こ

の道場は10年前に設立しました。  
週3回、稽古をしていて、小学  
生以下の子どもは15人ほどが通つてい  
ます。最も重視しているのは基本です。  
教え子たちにも、古くから受け継がれ  
ている型の大切さを繰り返し説いてい  
ます。教え子が大会で結果を残せばう  
れしいし、空手が東京五輪の正式種目  
になったのも喜ばしいことです。ただ、  
私の願いは教え子たちが礼節を身に付  
け、精神的に成長することです。



太田伊知子さん  
いちこ

先生に何度も注意されて、何回やり直してもできないことがあると落ち込みます。でも、稽古を続けていると、上達できているなど思えることがあります。稽古した分だけ強くなれるし、試合で勝てたときには大きな達成感が得られます。



小瀧一虎さん  
いちこ

空手が好きで、8年ぐらい通っています。簡単には強くなれないし、努力するのは大変だなと思うこともあるけれど、これからも空手を続けたいです。いつか必ず世界大会やオリンピックに出場して、優勝することが目標です。



茜ヶ久保和さん  
あかねがくほわ

ここに通うようになって、違う学校や学年の子たちとも友達になれました。そうした仲間の励ましがあるので、少しずつでも強くなれているんだと思います。今後の目標は、大会でしっかり結果を残して、早く黒帯になることです。



内山幸乃さん  
ゆきの

4歳のときに空手教室を見学して、「自分でもやってみたい」と思って始めました。できなかったことが克服できたり、注意されたことをきちんと直せたりして、先生に褒められると励みになります。一番の思い出は、大会で優勝できたことです。



カフェ ココペリ  
Cafe KOKOPELLI

TEL.0466(51)4583

ふんわりとした食感が評判の特製パンケーキ

一番人気のパンケーキは、「レアチーズパンケーキ」(写真手前、1,100円)など12種類以上。ソースも全て手づくりで、他にも「フレンチトースト」(950円)や「パフェ」(6種類、700円～)など多彩なスイーツが楽しめます。山形県産の卵を使った「オムライス」(同奥、1,050円)や「エッグベネディクト」(950円)などのフードメニューも豊富にそろい、コーヒーや紅茶、お酒などのドリンクも充実。



「場所が分かりにくいのでウェブサイト(<https://www.cafe-kokopelli.net>)を参照してください」とオーナーシェフの加納晟治(じょうじ)さん



沿線オススメ店めぐり  
ぶらり寄り道!

今号の🍴テーマ

ほっこりできる  
カフェ

＼ オススメ! /

パンケーキもオムライスの卵も、ふんわりとした食感が魅力。また、小上がりやおむつ替えスペースがあるので、お子さま連れにもオススメです。



●藤沢市湘南台2-1-3 サン80湘南台101 営業11:00～17:00 休不定休

特典

本誌をご提示の上ご飲食の方には、ドリンク(コーヒー、紅茶、ジュース)を1杯サービス(2019年4月末まで・本誌1冊につき1名さまのみ有効)。



「コーヒーやお酒、お食事と、思い思いの時間を過ごせる店です」と語る、店主の齊木亮一さんとお母さまの八重子さん

＼ オススメ! /

定番メニューの「ナポリタン」はほっとできる優しい味わい。また、テーブル席が余裕を持って配置されており、くつろいだ時間を過ごすことができます。



● 大和市大和東3-1-17  
 ◎10:00～翌3:00(パーティ  
 ム19:30～) ㊟火曜



## マ リ モ ア ン ド フ リ ー ク ス Marimo N' Freaks

TEL.046(263)9608

### 50年親しまれている味と豊富なお酒

1969年創業の喫茶店で、2017年にバースタイルの内装にリニューアルしたお店。「マリモブレンド」(写真手前、450円)などのコーヒーは注文を受けて1杯ずつサイホンで入れてくれます。創業時から変わらぬ「ナポリタン」(同右、750円)、自家製ローストビーフを使った「クラブハウスサンド」(同左、890円)などのフードメニューも充実。夜は60種類以上あるウイスキーをはじめ、お酒も楽しめます。

#### 特典

本誌をご提示の上ご飲食の方には、粗品を1個サービス(2019年4月末まで・本誌1冊につき1名さまのみ有効)。

＼ オススメ! ／

店内は北欧風インテリアに彩られたオシャレな雰囲気、スタッフの皆さんのフレンドリーな人柄も◎。10名以上で貸し切りもできます。



●海老名市中央2-10-27  
◎木・金曜11:30～14:30(他の曜日のランチ、ディナータイムは予約制) ◎無休



「ケータリングサービスも行ってます」と語る店主の「みーにゃん」



## エビス 海老寿cafe

TEL.046(240)0240

### 多彩な料理やスイーツが楽しめる隠れ家カフェ

#### 特典

本誌をご提示の上ランチの「レモンから揚げ丼」をご注文の方には、540円で提供します(2019年4月末まで・本誌1冊につき1名さまのみ有効)。

週2日のランチは「レモンから揚げ丼」(626円)や「バルサミコグリルチキン」(945円)など10種類ほど。ディナーは単品の他、10品の料理と飲み放題が楽しめる「隠れ家カフェスペシャル」(写真、3名～1名4,698円)をはじめ、約17種類のコースがあります(いずれも要予約)。また、パティシエがつくる「フォンダンショコラ」(432円)などのスイーツも評判。

●取材時のこぼれ話をウェブサイト「相鉄グループ」内の「相鉄瓦版」に掲載中!



ぶらり寄り道!

相鉄線沿線  
お出掛けスポット  
めぐり



## 湘南台文化センター こども館

地球儀をモチーフにした外観が目を引く「湘南台文化センターこども館」。臨場感あふれる星空を楽しめるプラネタリウムの「宇宙劇場」と、実際に展示物を触って楽しめる「展示ホール」があります。工作などのさまざまなワークショップを開催しており、今年7月に開館30周年を迎えるのを記念して「奇跡の地球」をテーマにした特別企画展示も行われます。



● 藤沢市湘南台1-8  
TEL.0466(45) 1500  
Ⓜ9:00～17:00(入館は16:30まで) ㊟月曜(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日(土・日曜除く)  
<http://www.kodomokan.jp/>



「SOTETSUあしたをつくるPROJECT」

SOTETSU  
MORROW  
PROJECT

横浜で  
暮らす  
#hamakura

相鉄グループ公式SNS  
「横浜で暮らす #hamakura」

横浜エリアで暮らすことの魅力を発信するSNS「横浜で暮らす #hamakura」は、おかげさまでフォロワー数が8,000人を突破しました！ 相鉄線沿線のおいしいレストランやイベント情報、相鉄グループのトピックスなど、今すぐチェックしたいニュースが盛りだくさん！ 家族や友達同士のお出掛けにも役立ちます。ぜひ、ご利用ください。

## 春の野草



苞が紫色の「ムラサキマムシグサ」。名前の由来は、茎に見られる斑点がマムシの模様似ていることから



こちらは苞が緑色の「カントウマムシグサ」。皮膚がかぶれることがあるので触れないように注意

### Information

4月13日(土)に、ヨモギについて学ぶゼミを開催します。詳しくは、こども自然公園どろんこクラブのウェブサイトをご覧ください。  
<https://www.doronco-club.com>  
 TEL.045 (352) 2820  
 [火・金・土・日・祝日9:00 ~ 17:00]

**こども自然公園**  
 (横浜市環境創造局  
 北部公園緑地事務所)

横浜市旭区大池町65-1 二俣川駅から徒歩15分、  
 南万騎が原駅から徒歩7分 TEL.045 (353) 1166

約48haの面積を有する「こども自然公園」。園内には大型遊具の「とりでの森」や「万騎が原ちびっこ動物園」をはじめ、多彩な施設が点在しています。地元の人には「大池公園」の名でも親しまれており、大きな池を中心に豊かな自然が広がっています。当コーナーでは、この公園の四季折々の動植物を紹介していきます。

園内の林の中に歩を進めると、変わった形状の野草を目にすることができます。筒状の苞が特徴の「マムシグサ」で、サトイモやコンニャクの仲間です。筒状の苞は**仏炎苞**と呼ばれるもので、中には雄しべや雌しべがあります。この他にも、園内では多くの野草を発見できます。こども自然公園にお出掛けの際は、小さいいきものにも目を向けてみてください。

開園20周年 園長あいさつ

## よこはま動物園ズーラシア開園20周年を迎えるにあたって

よこはま動物園 園長  
村田 浩一

よこはま動物園ズーラシアは、「生命の共生・自然との調和」をメインテーマに掲げ、「世界一周の動物旅行」ができる動物園として、1999年4月24日に開園しました。

20周年を迎え、国際的にも高い評価を得るまでに育ちました。これもひとえに、多くの来園者ならびに関係者の皆さまのご支援とご協力のおかげであると心より感謝しています。さらなる未来に向けて、ズーラシアが来園者にとっても、動物たちにとっても、楽しく幸せな時間を過ごせる場となるように、スタッフ一同努力を重ねていきます。

## イベント情報

## 開園20周年記念式典

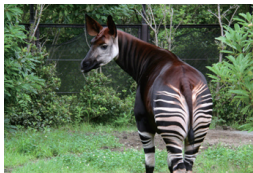
開催日 4月21日(日) 場所 みんなのはらっぱ大テント

内容 20周年をお祝いする記念式典を開催し、ズーラシア管弦楽の演奏や記念植樹も実施します。



## ズーラシアの動物たち 〈オカピ〉

アフリカのコンゴ民主共和国に生息する珍しい動物。ズーラシアでは国内で唯一繁殖にも成功し、4頭の赤ちゃんが大きく育ちました。キリン科の特徴ともいえる長い舌で木の葉を食べる様子をじっくり観察してみてください。



別名は「森の貴婦人」とも



よこはま動物園

ズーラシア

横浜市旭区上白根町1175-1 TEL.045 (959) 1000

開園時間 / 9:30 ~ 16:30 (入園は16:00まで)

休園日 / 火曜 (祝日の場合は開園、翌日休園)

※5月6日(月)までは無休

▶ 鶴ヶ峰駅または三ツ境駅からバスで約15分

最新の情報は、ズーラシアのウェブサイトをご覧ください。  
<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>



## 春を楽しむお出掛け情報

4/14 目 天王町駅・横浜市岩間市民プラザ  
ベートーヴェンのレクチャーコンサート

水野佐知香×安嶋健太郎×西澤健一レクチャーコンサート「クロイツェル」を開催。バイオリニストとピアニストによる演奏に加え、作曲家が曲の構成や作品の世界をレクチャーします。13:30開場、14:00開演。前売りは一般2,500円、学生2,000円(当日は各300円プラス)。未就学児の入場不可。

📍 横浜市岩間市民プラザ  
TEL.045 (337) 0011 [9:00 ~ 21:00]  
<http://www.iwamaplaza.jp/>

4/27 土 いずみ中央駅・横浜市泉区民文化センター テアトルフォンテ  
大人も子どもも楽しめる感謝祭

「フォンテ・フェスタ2019 ~テアトルフォンテに全員集合~」を開催。上口龍生によるマジックショー、金管ブラス隊などで構成された「Banda! Banda!」のミニコンサート、泉区の歴史を題材にした紙芝居、マジックのワークショップなどが行われます。時間は10:00 ~ 15:00。全イベント無料。

📍 横浜市泉区民文化センター テアトルフォンテ  
TEL.045 (805) 4000 [9:00 ~ 21:00、第3火曜日]  
<http://www.theatre-fonte.com/>



上口龍生

5/18 土 星川駅・星川中央公園  
「花の街」を満喫できるフェスタ

「ほどがや花フェスタ2019」を開催。保土ヶ谷区独自の取り組みとして制定された「ほどがや花憲章」を広めるために行われるもので、苗木の無料配布、花苗や野菜の即売会などを実施。合唱や吹奏楽などのステージイベント、ワークショップも行われます。時間は9:30 ~ 15:00(荒天の場合は翌日に順延)。

📍 ほどがや花の街推進連絡会(保土ヶ谷区役所 資源化推進担当)  
TEL.045 (334) 6304 [平日8:45 ~ 17:00]





いずみ野駅

## ど根性キッチン



いずみ野産の食材が9割、  
地産地消を極めるレストラン

「生産者と消費者はもちろん、隣に座り合った人同士が食を介してつながる。そんな“場”を提供したいのです」とオーナーシェフの椿直樹さん。店名は“土”地に“根”差して“生”きる、というコンセプトに由来し、その名の通り提供している食材の9割が、地元いずみ野産です。名物の「ど根性サラダ」には、赤軸ホウレンソウ、青ダイコン、赤カブ、黄ニンジン、紫色のジャガイモ“シャドークイーン”など、旬菜がたっぷり。シャキシャキの生野菜やホクホクのおイモなど、いろいろな食感を楽しめます。生産者の声を直接聞き、食材の魅力を最大限に引き出すメニューづくりを心掛け、オムライスやポテトサラダなど、親しみやすい料理もそろっていて、まるで農家のお宅に招かれたような雰囲気の中で食事を楽しめます。

横浜市泉区和泉町6214-1  
(相鉄線いずみ野駅徒歩1分)  
TEL: 045 (410) 8466  
◎平日11:00～15:00 (L.O.14:30)、  
17:00～22:00 (L.O.21:15)、土休  
日11:00～22:00(ランチL.O.15:00、  
ディナー L.O.21:15)  
◎月曜(祝日の場合は翌火曜)  
[https://www.facebook.com/  
dokonjyokitchen](https://www.facebook.com/dokonjyokitchen)

相鉄沿線名店プロジェクト…「地産地消」の取り組みなど、地域に根差した「こだわり」を持った地元の名店の紹介や相鉄グループが新たな名店を誘致することで、相鉄線沿線の魅力を高める取り組みです。[https://hitosara.com/contents/sotetsu\\_meiten/](https://hitosara.com/contents/sotetsu_meiten/)



### 【お知らせ】

クロスワードパズルは前号(第258号・2019年3月発行号)をもって連載を終了させていただきます。長い間ご愛顧いただき、誠にありがとうございました。

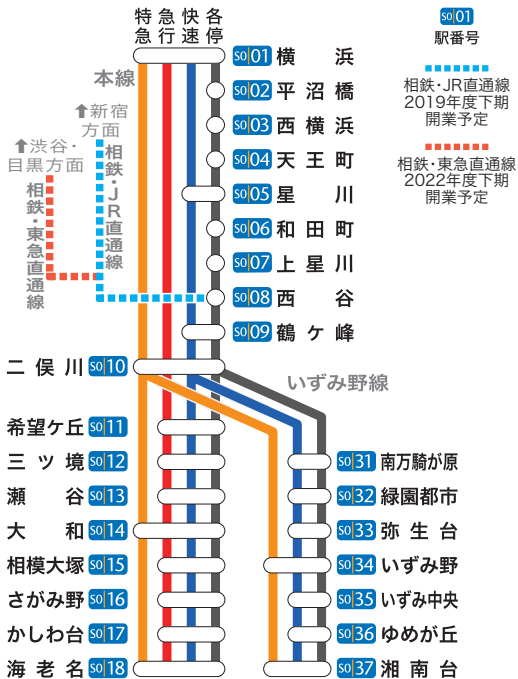
1	ろ	し	あ	ほ	し	よ	う
2	く	ず	き	こ	う	か	
3	は	る	く	ぎ	ふ	い	
4	ら	い	よ	そ	う		
5	た	け	こ	ぶ	た	一	こ
6	ん	ま	一	く	し	一	と
7	だ	め	る	や	わ		
8	い	い	ね	か	る	わ	ざ

前号の  
答え

「としようほう」  
たくさんのご応募、  
ありがとうございました。  
当選者の発表は賞品の  
発送をもってかえさ  
せていただきます。

前号(第258号・3月発行号)に掲載のクロスワードパズル「前号の答え」に誤りがありました。ヨコのヒント10番の答えは「あるばいと」ではなく、正しくは「あるまいと」でした。深くおわびを申し上げるとともに訂正させていただきます。

# 相鉄線路線図



次号(6月1日発行予定)は「内館牧子  
小松成美 特別対談」を特集します

相鉄瓦版は、ウェブサイト「相鉄グループ」  
でもご覧いただけます。

<https://www.sotetsu.co.jp>

2019年4月1日

発行：相鉄ホールディングス(株)

横浜市西区北幸二丁目9番14号

相鉄お客様センター TEL.045 (319) 2111

[平日9:00～19:00 土日9:00～17:00]